



2017年5月5日 第320号

発行所 青森県労働組合総連合（青森県労連）
〒 030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234

発行人 青森県労働組合総連合（毎月 5 日発行）定価 10 円
1992 年 10 月 30 日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

4月2日（日）、憲法ネット青森は、アピオあおもりで2017年総会を開催しました。開会のあいさつに立った代表委員の横山慶一弁護士は、「昨年の参議院選挙で東北は勝利したが、改憲勢力は3分の2を占め、危機的な状況にある。」とし、共謀罪については、「オリンピックがあるので、これくらいはあるのだから、これくらいはいいのでは」「テロ対策が必要などの意見も多くあり



共謀罪はテロ対策 のためではない

様々な場面で、国民に語り掛けることが必要となつて

いる。」と訴う
の後、「憲法の
かいをめざして
谷崎嘉治代表
戦後70年を振
争法廃止」の連
を訴えました
中弘南黒地区
の「戦争法廃
止2000万
人署名」の取
組みや、新婦
人のPKO署
名の防衛省提
出など、各組
織の活動が報
告され、役員
を再任して終
了しました。

生協店前でヒバクシャ署名

ヒバクシャ国際署名を進める青森県連絡会は、4月15日（土）11時から青森県民生協アカシア館前で、ヒバクシャ国際署名統一行動を実施しました。当時は、あいにくの雨の中、16人が行動に参加しました。原爆被患者の会から参加した義之栄光さんは、ご自身の被爆体験を語りながら、来店者にヒバクシャ国際署名を訴えました。リレートークでは、県原水協の谷崎嘉治会長、原水禁県民会議の今村修会長など各組織の代表者が交代で、署名への協力者を訴えました。また、県民生協アカシア館店長のご厚



意により、館内放送でヒバクシャ国際署名への協力の呼びかけがあり、1時間で62筆の署名が集まりました。

第88回メーデー 憲法違反の共謀罪阻止！



中央集会（300 名）



中弘南黒地区 (263名)



三八地区 (180名)



西北地区 (46 名)



上十三地区（30名）



下北地区（18名）

■青森市長選から4か月、小野寺市長に怒りの声が広がっています。市が行った調査で3割の人が利用したいと答えた「合葬墓」の整備事業が、29年度は工事に着手する予定になっています。したが、小野寺市長は予算に計上しませんでした。平和の尊さを学び伝えるために戦後70年という節目の年にあたる27年から中学生を被爆地に派遣する「平和大使派遣事業」を行ってきました。しかしこの予算もばつさり削ってしまいました。さらに子どもの通学に危険な岡田橋の歩道橋の建設調査予算を前年度より半分に削減（258万円）しました。■アウガ問題では17億8千万円の債権放棄をすることになったことで、「姿勢を市民に見せるためだ」といって市職員等の賃金を切り下げるという姑息な手を使っています。一方、駅周辺整備事業は青森駅舎の上に東西自由通路建設・駅舎建設など総事業費100億円。そのうち青森市の負担は44億円に上ります。「合葬墓をつくってほしい」「平和大使を復活させたい」という署名が始まっています。「平和大使」署名は中学生も行っています。アメリカの独裁者「トランプ大統領」。青森市の独裁者「（小野）デランプ市長」と市の職員が呼んでいるそうですが「ナットク」。

